
読じゃねえ！私の、私達作品著者（私のエゴかもしれないが）の訴えだ！見たいヤツだけ読んで

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

これは小説じゃねえ！私の、私達作品著者（私のエゴかもしれないが）の訴えだ！見たいヤツだけ読んでくれ！！

【Nコード】

N56610

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

これは小説ではありません。興味のある方だけ、どうぞお読み下さい。

(前書き)

不快な思いをされるかもしれませんが、
引き返すなら、今です。

このサイトは、小説及び小説じゃない詩や論文、それにも満たない物を多数いろんな人達が執筆という形で投稿している。

そして、はたまた大多数の方々が、この執筆したモノに目を通す・読む・熟読する等している。

著者達は（私だけかもしれないが）、読んでもらいたい、何かを伝えたい、何かを感じて欲しい、などという思いの下、執筆している。

物語が面白いのか、ツマラナイのか、泣ける話なのか、笑える話なのか、いろいろ試行錯誤して執筆している筈である。（と思う）

しかしながら、読者は大多数が読むだけ、見るだけで終わっているという現状にある。

確かに「感想を書けと言われても……」という気持ちも分からないではない。

しかし、著者は著者達は、『良かった点』や『悪かった点』も欲しいであろうが、『一言』だけでも貰えると大変嬉しい（筈）のである。

今一度考えてみて欲しい。著者でありながら読者である者もいるだろう。一読者に徹している者もいるだろう。書き手であれば、他の著者の気持ちも分からない訳ではないであろう。読み手であれば、著者の気持ちを考える事も出来るであろう。

著者は、著者達は、読者の反応を待っている。アクセス数だけを見て、『読まれてるんだあ〜』と有頂天になる者は少ない（だろう）と思われる。

この書は、題にも申した通り小説ではない。しかし、この書に目を通した、一読した、読んでみたという者がいるならば、読んだ作品に『ただ一言』だけでも、感想を添えてやれないだろうか。

これは、著者、著者達（私のエゴかもしれないが）の訴えである
と思い、此処にこの書を残す。

(後書き)

書は文字を伴った命です。評価うんぬんよりも、それを産んだ者達に何かメッセージをお願いしたいです。

そこから繋がりが生まれる事もあるでしょうから……。
差し出がましい物言い、申し訳ありませんでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5661o/>

これは小説じゃねえ！私の、私達作品著者（私のエゴかもしれないが）の訴え

2010年10月29日02時55分発行